

## 今後の進め方

---

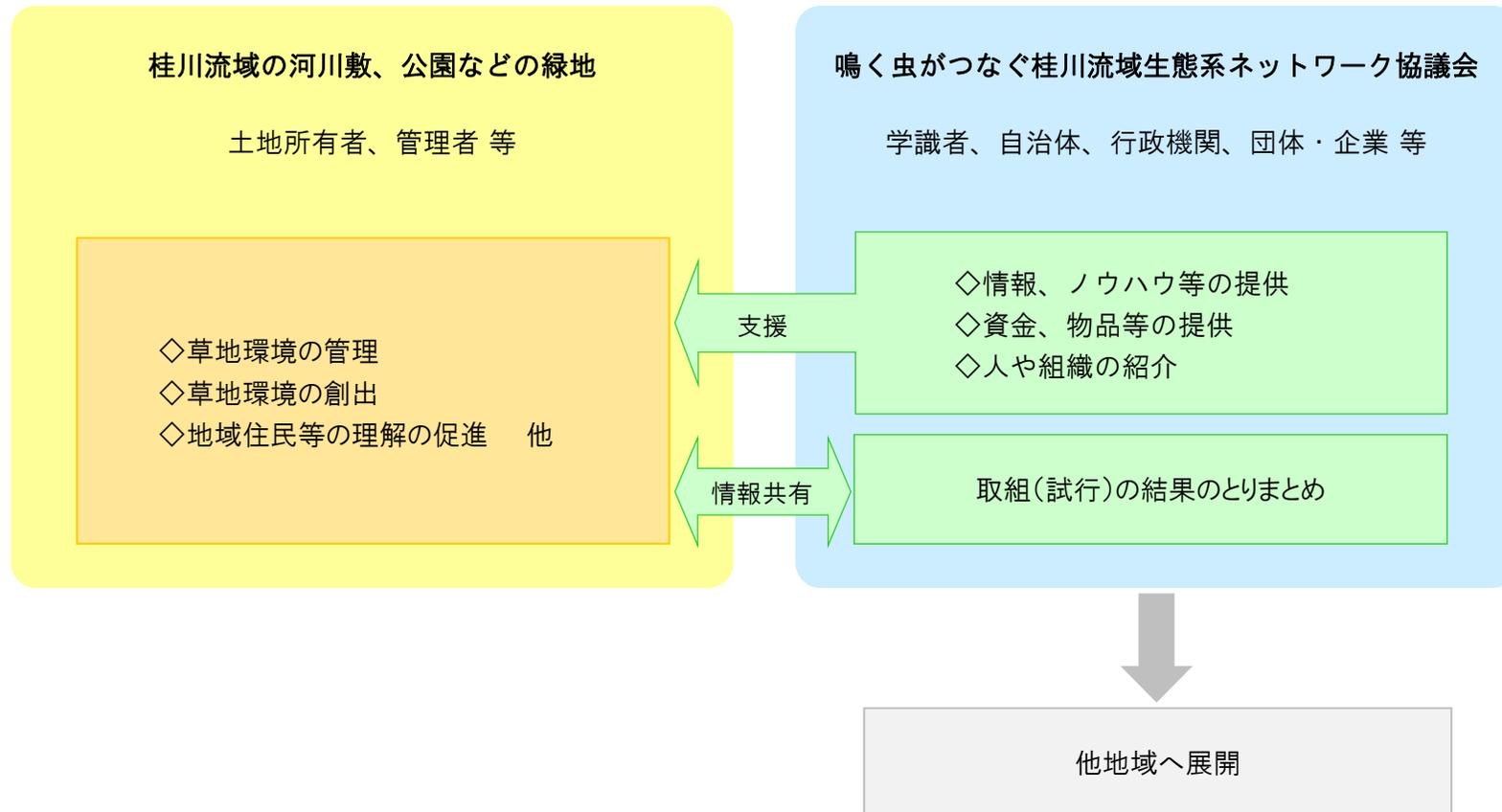
## スケジュール

- 2022年度に「鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会」を設立した。2023年度に、「生息環境づくりワーキング」と「地域・人づくりワーキング」を設置し、具体的取組の検討を開始した。
- 2024年度から2026年度にかけて、生態系ネットワーク形成の取組を試行し、その結果を整理して、2027年度以降の展開を検討する。



## 生息環境づくり

- 桂川流域の河川敷、公園などの緑地の土地所有者、管理者等と情報共有を図りながら、土地所有者、管理者等による鳴く虫の生息環境の保全・再生の取組（試行）を、鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会の構成員が支援する。
- 他地域で取り組む場合の参考になるよう、桂川流域の河川敷、公園などの緑地での取組（試行）の結果をとりまとめる。



## 2024年度の生息環境づくりの取組

- 2024年度は、今年度の生息環境づくりワーキングでの意見を踏まえて、関連情報を収集・整理し、鳴く虫の生息環境の保全・再生の考え方や植生管理の工夫などを示した手引書の作成を進めるとともに、取組箇所の設定や地域住民等の理解促進の手法等を検討する。

### 鳴く虫の生息環境の保全・再生の手引書の作成

手引書は、鳴く虫を指標種・シンボルとした桂川流域生態系ネットワークの形成に向けて、河川や公園等の土地所有者・管理者を対象に、鳴く虫の生息に適した植生管理の手法を提示するものである。

今年度の生息環境づくりワーキングにおいて、河川や公園等で草地の管理を工夫するにあたっては、地域住民等の賛同を得ていくことが重要であるとの指摘があった。地域住民等の理解を得ながら、生息環境づくりの取組を進めることに留意して、検討する。

鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク

### 鳴く虫の生息環境の保全・再生 —河川や公園等での草地管理の工夫—

2023.12.19ver.

はじめに

1. 鳴く虫に着目して草地を管理する意義
2. 鳴く虫の生態と生息環境
3. 河川や公園等での草地管理の工夫

はじめに

本資料の構成

- 本資料では、「鳴く虫に着目して草地を管理する意義」「鳴く虫の生態と生息環境」「河川や公園等での草地管理の工夫」を示した。

資料構成

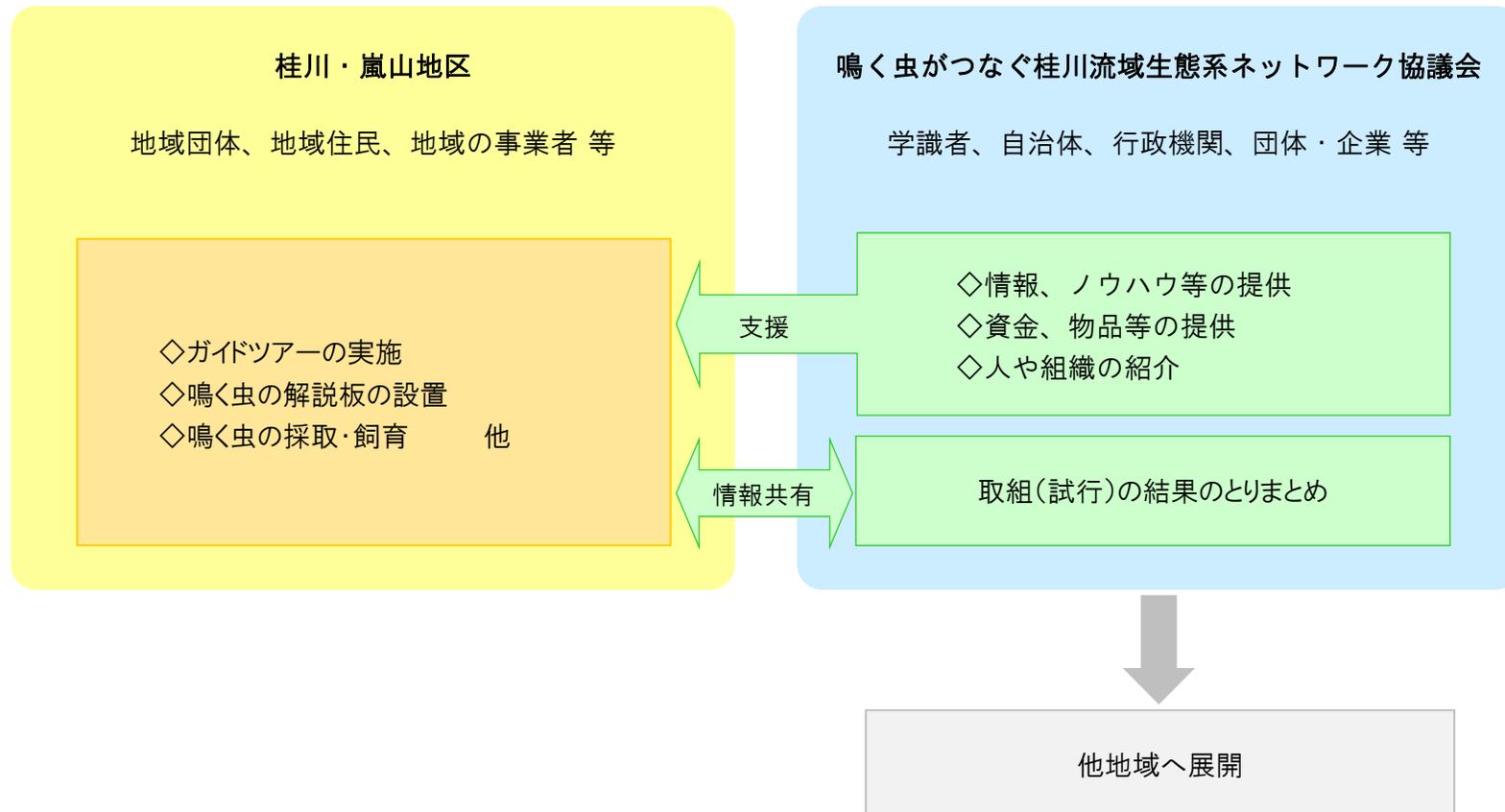
1. 鳴く虫に着目して草地を管理する意義  
桂川流域生態系ネットワークの指標種・シンボルである鳴く虫に着目して草地を管理する意義を示した。
2. 鳴く虫の生態と生息環境  
鳴く虫（コオロギ類・キリギリス類）の生態と生息環境の概要を示した。
3. 河川や公園等での草地管理の工夫  
河川や公園等における鳴く虫の生息に適した草地管理の工夫を示した。

- なお、本資料の内容は、現時点での知見から整理しており、桂川流域における今後の鳴く虫の生息環境の保全・再生の取組を踏まえて、更新していくことを想定している。

2

## 地域・人づくり

- 桂川・嵐山地区の現地案内会、座談会を通して、地域団体の方々に鳴く虫への興味・関心を持っていただくことができた。また、桂川・嵐山地区座談会では、地域・人づくりに鳴く虫を活かすアイデアが出された。
- 桂川・嵐山地区の地域団体等と情報共有を図りながら、地域団体等の自発的な取組（試行）を、鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会の構成員が支援する。
- 他地域で取り組む場合の参考になるよう、桂川・嵐山地区での取組（試行）の結果をとりまとめる。



## 2024年度の地域・人づくりの取組

- 2024年度は、桂川・嵐山地区で「ガイドツアー」「解説板の設置」「鳴く虫の採取・飼育」に関する検討を行い、取組を試行する。

### ガイドツアー

桂川・嵐山地区において、旅行者に鳴く虫や鳴く虫文化を紹介するガイドツアーの実施に向けた検討を行い、試行する。



### 解説板の設置

桂川・嵐山地区において、鳴く虫の解説板の設置に向けた検討を行い、試行する。



### 鳴く虫の採取・飼育

桂川・嵐山地区において、桂川河川敷での鳴く虫（キリギリス等）の採取・飼育の試行に向けた検討を行い、試行する。

